

家庭学習の手引き(5. 6年生)

家庭学習の意義

1. 学校で学習した内容をより確かにします。
2. 学習習慣が身につきます。
3. 自ら学ぼうとする態度や学習に対する自信が身につきます。
4. 脳が活性化し鍛えられます。
5. がまん強さ・根気強さ・集中力が身につきます。
6. 家族がふれあう機会となり、子どもの精神の安定につながり心身ともに健やかに育ちます。



5. 6年生はこんなとき

◇見守って、伸ばす高学年

- ・一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評判が気になります。
- ・自分を客観的に見つめたり、友だちと自分を比べたりするようになります。
- ・考える力が大人並みになり、時には大人への反抗も見られます。
- ・心や体が急激に変化します。心と体のバランスが崩れ、不安定になることもあります。
- ・得意な教科と苦手な教科を意識し始めます。
- ・先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味、関心が大きく左右されます。
- ・小学校の学習のまとめをして、中学校へつなげる大切な学年です。

学校の主な学習内容

- ・家庭科の学習や外国語活動が始まります。
- ・どの教科も学習内容が多くなります。
- ・新出漢字は、5年生が185字、6年生が181字です。
- ・筋道を立てて考える論理的な内容の学習や、抽象的なものの見方が求められます。
- ・自分で課題を見つけ、解決していくことのおもしろさを経験させ「学び方」や「ものの考え方」を育てます。
- ・繰り返し学習の定着で、基礎・基本の定着が図られます。



家庭学習・自主学習にチャレンジ

集中して学習（時間の目安は60分）し、自分の意思で続けることが大切です！

- 漢字の読み書きや、四則計算など繰り返し練習しスキルアップに取り組みましょう。
- 学習したことをノートに工夫してまとめてみましょう。
- 学習した内容でもっと知りたいことを、資料を使って調べ、ノートにまとめてみましょう。
- 県名や県庁所在地、主な国の名前、歴史上の人物、水溶液の性質など、ノートにまとめてみましょう。
- 進んで学ぶ好奇心を育てるために、図鑑や辞典を子どものそばに置きましょう。

※ 学校での学習を振り返りながら、教科書やノートを参考にして、苦手な教科も粘り強く取り組めるように、アドバイスしましょう。

※ 国・算・理・社・家庭科・音楽・総合等、自主学習の素材は満載です。まずは、好きな学習から始め、毎日取り組めるようアドバイスしましょう。

※ 高学年は、“予習”と“復習”の両方ともバランスよく取り組むことが必要です。